

学校コード F113310103518

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

東京都市大学 デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人五島育英会
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 教育支援部教学支援課

職名・氏名 係長・^{ナオエ}猶江 ^{アツユキ}敦之

電話番号 03-5707-0104

(夜間) 03-5707-0104

e-mail

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

デザイン・データ科学部

＜デザイン・データ科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	24
7. その他全般的事項	26

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人五島育英会

(2) 大学名

東京都市大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西三丁目3番1号
(〒158-8557 東京都世田谷区玉堤一丁目28番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イズミ ヤスユキ) 泉 康幸 (令和3年5月)		
学長	(ミキ チトシ) 三木 千壽 (平成27年1月)		
学部長	(セキ ヨシアキ) 関 良明 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科 学士(学術)	工学関係	4年	100人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	400人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	100	(-)	(-)			
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1,028	(-)	(-)			
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	987	(-)	(-)			
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	301	(-)	(-)			
B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	108	(-)	(-)			
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.08					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	108	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	108	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	108 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{108} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	倫理学(1)	1前	2								1
	倫理学(2)	1後	2								1
	倫理学(a)	1後	1								1
	倫理学(b)	1後	1								1
	視覚芸術史(1)	1前	2								1
	視覚芸術史(2)	1後	2								1
	デザイン概論(1)	2前	2								1
	デザイン概論(2)	2後	2								1
	日本史(1)	1前	2								1
	日本史(2)	1後	2								1
	西洋史(1)	1前	2								1
	西洋史(2)	1後	2								1
	社会学入門(a)	1前	1								1
	社会学入門(b)	1前	1								1
	日本経済論(a)	3前	1								1
	日本経済論(b)	3前	1								1
	西洋経済史	1前・後	2								1
	日本の政治(a)	2前	1								1
	日本の政治(b)	2前	1								1
	日本国憲法	1前・後	2								1
	法学	1前	2								1
	民法	1後	2								1
	心理学入門	1前	2								1
	社会とジェンダー(a)	1後	1								1
	社会とジェンダー(b)	1後	1								1
	日本文化の伝承(a)	1後	1								1
	日本文化の伝承(b)	1後	1								1
	スポーツ・健康論	1前・後	2								1
	データサイエンスリテラシー(1)	1前・後	1			1					
	データサイエンスリテラシー(2)	1前・後	1			1					
	環境問題と社会	1前	2								1
	情報編集入門	1後	2				1				
Japan Studies	2前・後	2								1	
Global Studies(1)	2前・後	2				1					
Global Studies(2)	2前・後	2				1					
Global Studies(3)	2前・後	2								1	
Global Studies(4)	2前・後	2								1	
Intercultural Understanding(1)	2前・後	2				1					
Intercultural Understanding(2)	2前・後	2				1					
教養特別講義	1前・後	2			1						
ボランティア(1)	1-2-3-4	1			1						
ボランティア(2)	1-2-3-4	1			1						
インターンシップ(1)	1-2-3-4	1			1						
インターンシップ(2)	1-2-3-4	1			1						
外国語科目	English I-A	1前	1								4
	English I-B	1前	1								4
	English II-A	1前・後	1				1				3
	English II-B	1前・後	1				1				3
	English III-A	1前・後	1				1				3
	English III-B	1前・後	1				1				3
	Reading Comprehension	1後・2前	2								1
	Debate & Discussion	1後・2前	2								1
	Presentation Strategies	1後・2前	2								1
	English Test Preparation	1後・2前	2				1				
	Writing Strategies	1後・2前	2								1
	Academic Reading	1後・2前	2				1				
	Academic Discussion	1後・2前	2				1				
Academic Presentation	1後・2前	2				1					
English Test Preparation for Academic Purposes	1後・2前	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	倫理学(1)	1前	2								1
	倫理学(2)	1後	2								1
	倫理学(a)	1後	1								1
	倫理学(b)	1後	1								1
	視覚芸術史(1)	1前	2								1
	視覚芸術史(2)	1後	2								1
	デザイン概論(1)	2前	2								1
	デザイン概論(2)	2後	2								1
	日本史(1)	1前	2								1
	日本史(2)	1後	2								1
	西洋史(1)	1前	2								1
	西洋史(2)	1後	2								1
	社会学入門(a)	1前	1								1
	社会学入門(b)	1前	1								1
	日本経済論(a)	3前	1								1
	日本経済論(b)	3前	1								1
	西洋経済史	1前・後	2								1
	日本の政治(a)	2前	1								1
	日本の政治(b)	2前	1								1
	日本国憲法	1前・後	2								1
	法学	1前	2								1
	民法	1後	2								1
	心理学入門	1前	2								1
	社会とジェンダー(a)	1後	1								1
	社会とジェンダー(b)	1後	1								1
	日本文化の伝承(a)	1後	1								1
	日本文化の伝承(b)	1後	1								1
	スポーツ・健康論	1前・後	2								1
	データサイエンスリテラシー(1)	1前・後	1				1				
	データサイエンスリテラシー(2)	1前・後	1								1
	環境問題と社会	1前	2								1
	情報編集入門	1後	2					1			
Japan Studies	2前・後	2								1	
Global Studies(1)	2前・後	2					1				
Global Studies(2)	2前・後	2					1				
Global Studies(3)	2前・後	2								1	
Global Studies(4)	2前・後	2								1	
Intercultural Understanding(1)	2前・後	2					1				
Intercultural Understanding(2)	2前・後	2					1				
教養特別講義	1前・後	2					1				
ボランティア(1)	1-2-3-4	1					1				
ボランティア(2)	1-2-3-4	1					1				
インターンシップ(1)	1-2-3-4	1					1				
インターンシップ(2)	1-2-3-4	1					1				
外国語科目	English I-A	1前	1								4
	English I-B	1前	1								4
	English II-A	1前・後	1					1			3
	English II-B	1前・後	1					1			3
	English III-A	1前・後	1					1			3
	English III-B	1前・後	1					1			3
	Reading Comprehension	1後・2前	2								1
	Debate & Discussion	1後・2前	2					1			
	Presentation Strategies	1後・2前	2								1
	English Test Preparation	1後・2前	2					1			
	Writing Strategies	1後・2前	2								1
	Academic Reading	1後・2前	2					1			
	Academic Discussion	1後・2前	2					1			
Academic Presentation	1後・2前	2					1				
English Test Preparation for Academic Purposes	1後・2前	2					1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
												授
	Academic Research & Writing	1後・2期	2			1						
専門基礎科目	データサイエンス概論	1前	2			1						
	コンピュータ基礎演習	1前	2					1				
	プログラミング基礎演習	1後	2			1						
	データサイエンス数学	1前	2			1						
	統計学基礎	2前	2			1						
	統計データ解析演習	2後	2			1						
	情報学理論	2前	2			1						
	アルゴリズムとデータ構造	1後	2			1						
	機械学習論	2前	2					1				
	データマイニング	2後	2			1						
	データベース	2後	2			1						
	データ社会論	1後	2			1						
	量的ユーザー調査	1後	2			1						
	質的ユーザー調査	1後	2			1						
	経営分析論	2前	2			1						
	業務プロセス分析	2前	2					1				
	ユーザーエクスペリエンスデザイン入門	1前	2			2	1					
	デザインプレゼンテーション	2前	2			1						
	デザインプロトタイピング(1)	2前	2			1						
	ウェブプログラミング	2後	2			1						
	情報デザイン	2後	2					1				
	デザインリサーチ	3前	2			1	1					
	ソーシャルシステムデザイン入門	1後	2			3	1					
	金融・市場システム論	2後	2			1						
	サービスイノベーション	2前	2			1						
経営戦略概論	2前	2			1							
総合的品質管理	2後	2				1						
オペレーションマネジメント	2後	2				1						
プロジェクトマネジメント	3前	2				1						
SD PBL(1)	1前	1			4	2						
SD PBL(2)	2前	1				1						
SD PBL(3)	3後	1				1						
小計(32科目)	-	11	50	0	10	3	1	0	0	0		
専門応用科目	プログラミング応用演習	2前	2			1						
	機械学習演習	2後	2			1						
	ビッグデータ解析演習	3前	2			1						
	ベイズ統計学	3前	2			1						
	ニューラルネットワーク	3前	2			1						
	画像・音声処理	3後	2					1				
	自然言語処理	3後	2					1				
	ウェブデータ処理	3後	2			1						
	企業経営分析ケーススタディ	3前	2			1						
	デザインプロトタイピング(2)	3前	2			1						
	ブランドコンセプトデザイン	3後	2			1						
	インタフェースデザイン	3前	2			1						
	感性デザイン演習	3前	2				1					
	デザインプロダクション演習	3後	2			1						
	インタラクションデザイン演習	3後	2			1						
	ビヘイビアル・ファイナンス	3前	2			1						
	リスク&クライシスマネジメント	3後	2			1						
	未来創造デザインプロジェクト	3後	2			1						
	サービスシステムデザイン演習	3前	2			1						
	サプライチェーンデザイン演習	3後	2				1					
ビジネスシステムデザイン演習	3後	2			1							
特別講義	1前・後	2				1						
海外インターンシップ	2・3・4	2				1						
COOPプログラム	4前	4				1						
キャブストーンプロジェクト	4後・前	4			10	3	1					
小計(25科目)	-	4	50	0	10	4	1	0	0	0		
合計(117科目)	-	21	190	0	10	5	1	0	0	19		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
												授
	Academic Research & Writing	1後・2期	2			1						
専門基礎科目	データサイエンス概論	1前	2			1						
	コンピュータ基礎演習	1前	2					1				
	プログラミング基礎演習	1後	2			1						
	データサイエンス数学	1前	2			1						
	統計学基礎	2前	2			1						
	統計データ解析演習	2後	2			1						
	情報学理論	1前	2			1						
	アルゴリズムとデータ構造	1後	2			1						
	機械学習論	2前	2					1				
	データマイニング	2後	2			1						
	データベース	2後	2			1						
	データ社会論	1後	2			2						
	量的ユーザー調査	1後	2			1						
	質的ユーザー調査	1後	2			1						
	経営分析論	2前	2			1						
	業務プロセス分析	2前	2					1				
	ユーザーエクスペリエンスデザイン入門	1前	2			2	2					
	デザインプレゼンテーション	2前	2			1						
	デザインプロトタイピング(1)	2前	2			1						
	ウェブプログラミング	2後	2			1						
	情報デザイン	2後	2					1				
	デザインリサーチ	3前	2			1	1					
	ソーシャルシステムデザイン入門	1後	2				5					
	金融・市場システム論	2後	2			1						
	サービスイノベーション	2前	2			1						
経営戦略概論	2前	2			1							
総合的品質管理	2後	2				1						
オペレーションマネジメント	2後	2				1						
プロジェクトマネジメント	3前	2				1						
SD PBL(1)	1前	1				1		2				
SD PBL(2)	2前	1						1				
SD PBL(3)	3後	1						1				
小計(32科目)	-	11	50	0	11	3	1	0	0	0		
専門応用科目	プログラミング応用演習	2前	2			1						
	機械学習演習	2後	2			1						
	ビッグデータ解析演習	3前	2			1						
	ベイズ統計学	3前	2			1						
	ニューラルネットワーク	3前	2			1						
	画像・音声処理	3後	2					1				
	自然言語処理	3後	2					1				
	ウェブデータ処理	3後	2			1						
	企業経営分析ケーススタディ	3前	2			1						
	デザインプロトタイピング(2)	3前	2			1						
	ブランドコンセプトデザイン	3後	2			1						
	インタフェースデザイン	3前	2			1						
	感性デザイン演習	3前	2					1				
	デザインプロダクション演習	3後	2			1						
	インタラクションデザイン演習	3後	2			1						
	ビヘイビアル・ファイナンス	3前	2			1						
	リスク&クライシスマネジメント	3後	2			1						
	未来創造デザインプロジェクト	3後	2			1						
	サービスシステムデザイン演習	3前	2			1						
	サプライチェーンデザイン演習	3後	2				1					
ビジネスシステムデザイン演習	3後	2			1							
特別講義	1前・後	2				1						
海外インターンシップ	2・3・4	2					1					
COOPプログラム	4前	4				1						
キャブストーンプロジェクト	4後・前	4			11	2	1					
小計(25科目)	-	4	50	0	11	3	1	0	0	0		
合計(117科目)	-	21	190	0	12	4	1	0	0	21		

卒業要件及び履修方法

教養科目12単位以上(うち選択必修(Japan Studies, Global Studies(1)-(4), Intercultural Understanding(1)(2))から6単位以上を含む)、外国語科目14単位以上(うち必修6単位、選択必修(Academic Reading, Academic Discussion, Academic Presentation, English Test Preparation for Academic Purposes, Academic Research & Writing)から4単位以上を含む)、専門基礎科目50単位以上(うち必修11単位、選択必修(プログラミング基礎演習、データサイエンス数学、統計学基礎、統計データ解析演習、情報学理論、アルゴリズムとデータ構造、機械学習論、データマイニング、データベース、データ社会論、量的ユーザー調査、質的ユーザー調査)から20単位以上を含む)、専門応用科目40単位以上(うち必修4単位、選択必修(感性デザイン演習、デザインプロダクション演習、インタラクションデザイン演習、サービスシステムデザイン演習、サプライチェーンデザイン演習、ビジネスシステムデザイン演習)から2単位以上を含む)を修得し、合計124単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:20単位(半期))

卒業要件及び履修方法

教養科目12単位以上(うち選択必修(Japan Studies, Global Studies(1)-(4), Intercultural Understanding(1)(2))から6単位以上を含む)、外国語科目14単位以上(うち必修6単位、選択必修(Academic Reading, Academic Discussion, Academic Presentation, English Test Preparation for Academic Purposes, Academic Research & Writing)から4単位以上を含む)、専門基礎科目50単位以上(うち必修11単位、選択必修(プログラミング基礎演習、データサイエンス数学、統計学基礎、統計データ解析演習、情報学理論、アルゴリズムとデータ構造、機械学習論、データマイニング、データベース、データ社会論、量的ユーザー調査、質的ユーザー調査)から20単位以上を含む)、専門応用科目40単位以上(うち必修4単位、選択必修(感性デザイン演習、デザインプロダクション演習、インタラクションデザイン演習、サービスシステムデザイン演習、サプライチェーンデザイン演習、ビジネスシステムデザイン演習)から2単位以上を含む)を修得し、合計124単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:20単位(半期))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・ 時間割編成上の都合により、「データサイエンスリテラシー(2)」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」へ変更。
- ・ 昇任人事に伴い、「ボランティア(1)」「ボランティア(2)」「インターンシップ(1)」「インターンシップ(2)」「業務プロセス分析」「総合的品質管理」「オペレーションマネジメント」「プロジェクトマネジメント」「サプライチェーンデザイン演習」「特別講義」「COOPプログラム」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。
- ・ 教育効果向上を企図して、「Debate & Discussion」の教員配置を「兼1」から「教授1」へ変更。
- ・ 教育効果向上を企図して、「データ社会論」の教員配置を「教授1」から「教授2」へ変更。
- ・ 教育効果向上を企図して、「ソーシャルシステムデザイン入門」の教員配置を「教授3、准教授1」から「教授5」へ変更。
- ・ 適正なクラス数の配置により、「SD PBL(1)」の教員配置を「教授4、准教授2」から「教授1、准教授2」へ変更。
- ・ 昇任人事に伴い、「キャップストーンプロジェクト」の専任教員等の配置を「教授10、准教授3、講師1」から「教授11、准教授2、講師1」へ変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	103 科目	0 科目	117 科目	14 科目 [0]	103 科目 [0]	0 科目 [0]	117 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{117} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	81,393.26㎡	0.00㎡	0.00㎡	81,393.26㎡				
	運動場用地	31,023.80㎡	0.00㎡	0.00㎡	31,023.80㎡				
	小 計	112,417.06㎡	0.00㎡	0.00㎡	112,417.06㎡				
	そ の 他	106,484.21㎡	0.00㎡	0.00㎡	106,484.21㎡				
	合 計	218,901.27㎡	0.00㎡	0.00㎡	218,901.27㎡				
(2) 校 舎	専 用	92,843.60㎡ 99,550.48㎡ (90,725.24㎡) -(97,234.98㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	92,843.60㎡ 99,550.48㎡ (90,725.24㎡) -(97,234.98㎡)	令和5年4月 キャンパス再整備及び用途変更に伴う変更(5)			
	講義室	96室 83室	演習室 49室 66室	実験実習室 150室 221室	情報処理学習施設 9室 14室 5 (補助職員6人)	語学学習施設 3室 4室 (補助職員0人)	大学全体 令和5年4月 退職及びキャンパス再整備 及び用途変更に伴う変更		
(3) 教 室 等	新設学部等の名称				室 数				
(4) 専任教員研究室	デザイン・データ科学部			16 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	デザイン・ データ科学部	365,131 [66,354] 371,542 [68,528] (357,559 [65,397]) -(368,140 [67,754])	15,348 [14,081] 19,289 [16,534] (15,348 [14,081]) -(19,289 [16,534])	13,612 [13,517] 17,463 [15,897] (13,612 [13,517]) -(17,463 [15,897])	1,998 2,042 (1,890) -(1,862)	36,702 38,240 (36,702) -(38,240)	9 (9)	9	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数 令和5年5月 令和4年実績の反映
	計	365,131 [66,354] 371,542 [68,528] (357,559 [65,397]) -(368,140 [67,754])	15,348 [14,081] 19,289 [16,534] (15,348 [14,081]) -(19,289 [16,534])	13,612 [13,517] 17,463 [15,897] (13,612 [13,517]) -(17,463 [15,897])	1,998 2,042 (1,890) -(1,862)	36,702 38,240 (36,702) -(38,240)	9 (9)	9	
	(6) 図 書 館	面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度		
	教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円	図書購入費には電子 ジャーナル・データ ベースの整備費（運用 コストを含む。）を含 む。	
	共同研究費等	5,700千円	5,700千円	設備購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,490千円	第2年次 1,290千円	第3年次 1,290千円	第4年次 1,290千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	手数料、寄付金、補助金、資産運用収入及びその他の収入							
学生納付金以外の維持方法の概要	手数料、寄付金、補助金、資産運用収入及びその他の収入								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京都市大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
理工学部	4	620	-	2,480	-	1.04	-	1.07	1.03	-	昭和24	-						
機械工学科	4	120	-	480	学士(工学)	1.00	-	1.02	0.98	-	昭和24	世田谷区玉堤1-28-1						
機械システム工学科	4	110	-	440	学士(工学)	1.00	-	1.03	1.00	-	平成9	同上						
電気電子通信工学科	4	150	-	600	学士(工学)	1.03	-	1.06	1.02	-	昭和24	同上						
医用工学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.06	-	1.07	1.05	-	平成19	同上						
応用化学科	4	75	-	300	学士(工学)	1.07	-	1.12	1.06	-	平成9	同上						
原子力安全工学科	4	45	-	180	学士(工学)	1.12	-	1.11	1.08	-	平成20	同上						
自然科学科	4	60	-	240	学士(理学)	1.07	-	1.06	-	-	令和2	同上						
建築学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	-	-	昭和32	同上	令和2年度入学生より学生募集停止					
都市工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	-	-	昭和32	同上	令和2年度入学生より学生募集停止					
建築都市デザイン学部	4	220	-	880	-	1.08	-	1.06	-	-	令和2	-						
建築学科	4	120	-	480	学士(工学)	1.10	-	1.08	-	-	令和2	世田谷区玉堤1-28-1						
都市工学科	4	100	-	400	学士(工学)	1.05	-	1.05	-	-	令和2	同上						
情報工学部	4	180	-	720	-	1.05	-	1.10	1.05	-	平成19	-						
情報科学科	4	100	-	400	学士(工学)	1.05	-	1.08	1.05	-	平成19	世田谷区玉堤1-28-1						
知能情報工学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.05	-	1.10	1.03	-	平成19	同上						
情報通信工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成19	同上	平成31年度入学生より学生募集停止					
自然科学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成21	同上	令和2年度入学生より学生募集停止					
環境学部	4	180	-	700	-	1.00	-	1.03	1.00	-	平成25	-						
環境創生学科	4	90	-	360	学士(環境学)	1.03	-	1.01	1.00	-	平成25	横浜市都筑区牛久保西3-3-1						
環境経営システム学科	4	90	-	340	学士(環境学)	1.02	-	1.04	1.01	令和3	平成25	同上	令和3年度から入学定員変更(70→90)					
メディア情報学部	4	190	-	750	-	1.05	-	1.08	1.07	-	平成25	-						
社会メディア学科	4	90	-	360	学士(社会情報学)	1.03	-	1.05	1.03	-	平成25	横浜市都筑区牛久保西3-3-1						
情報システム学科	4	100	-	390	学士(情報学)	1.09	-	1.12	1.10	令和3	平成25	同上	令和3年度から入学定員変更(90→100)					
デザイン・データ科学部	4	100	-	100	-	1.08	-	1.08	-	-	令和5	-						
デザイン・データ科学科	4	100	-	100	学士(学術)	1.08	-	1.08	-	-	令和5	横浜市都筑区牛久保西3-3-1						
都市生活学部	4	160	-	640	-	1.07	-	1.08	1.06	-	平成21	-						
都市生活学科	4	160	-	640	学士(都市生活学)	1.07	-	1.08	1.06	-	平成21	世田谷区玉堤1-28-1						
人間科学部	4	100	-	400	-	1.02	-	1.01	1.01	-	平成21	-						
人間科学科	4	100	-	400	学士(人間科学)	1.02	-	1.01	1.01	-	平成21	世田谷区玉堤1-28-1						
大学全体	4	1,750	-	6,670	-	-	-	-	-	-	-	-						

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあつては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
（様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。）
- ・学部、学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず本字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

個人情報を含むため非公開

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和4年)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教育改革を推進し教育の質的向上及び発展に資することを目的として設置された教育開発機構の元に、FD推進センターを設けている。

○東京都市大学教育開発機構規程

(設置)

第1条 東京都市大学（以下「本学」という。）に、教育開発機構（以下「機構」という。）を置く。

(目的)

第2条 機構は、本学における教育改革を推進し、教育の質的向上及び発展に資することを目的とする。

(機構長及び副機構長)

第3条 機構に、機構長及び副機構長を置く。

2 機構長は、機構を統括し、機構を代表する。

3 機構長は、副学長の中から学長が任命する。ただし、副学長を置いていない場合は、本学専任教授の中から学長が任命する。

4 機構長の任期は、機構長に副学長があたる場合を除いて2年とし、再任を妨げない。

5 副機構長は、機構長を補佐し、機構長に事故あるときは、その職務を代行する。

6 副機構長は、本学専任教授の中から学長が任命する。

7 副機構長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(組織)

第4条 機構に、次の組織（以下「各組織」という。）を置く。

(1) 数理・データサイエンス教育センター

(2) FD推進センター

(3) 教育開発室

(4) 教育アセスメント室

(5) ICT戦略室

(6) 教学IRセンター

2 各組織の運営にあたり必要な事項は、別に定める。

(センター長及び室長)

第5条 前条に掲げる各組織に、センター長又は室長（以下「責任者」という。）を置く。

2 責任者は、本学専任教職員の中から学長が任命する。

3 責任者の任期は2年とし、再任を妨げない。

(室員)

第6条 各組織に室員を置く。

2 前項の室員以外に、機構長の判断により機構全体又は特定の任務に当たる室員を置くことができる。

3 室員は、機構長が本学教職員の中から指名する。

4 室員の任期は2年とし、再任を妨げない。

5 機構長は、室員の中から副センター長又は副室長（以下「副責任者」という。）を指名することができる。

(運営会議)

第7条 機構に、教育開発機構運営会議（以下「運営会議」という。）を置く。

2 運営会議は、機構長が招集し、議長となる。

3 運営会議は、次の者で構成する。

(1) 機構長

(2) 副機構長

(3) 責任者

(4) 副責任者

(5) 業務若しくは役割に応じて機構長が必要と認める室員

4 運営会議は、前項に定める構成員の3分の2以上の出席で成立し、議事は出席構成員の過半数により決する。

5 機構長は、必要に応じて第3項に定める構成員以外の者を会議に出席させることができる。

(連携)

第8条 機構は、第2条の目的を達成するため、学部学科及びその他の学内組織と緊密な連携を図るものとする。

(所管部署)

第9条 この規程の所管部署は、事務局教育支援部教学支援課とする。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、学長会議の議を経て、学長が行う。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和4年度は、6回の会議を実施した。8名の教員により組織されており、会議の参加率は、約9割であった。

c 委員会の審議事項等

FD推進センターでは、全学的なFDに関する活動の企画及び立案、その実施までを担っている。また、各種刊行物を通して、学内外にその内容を広報しており、教育改善に関する情報共有及び理解の浸透を図るとともに、全学的な取り組みと各学部・学科等における独自の取り組みの相互活性化に繋げている。

② 実施状況

a 実施内容

- 全学FD・SDフォーラムの開催
- 教職員と学生との協働FD懇談会の開催
- 授業相互参観週間の実施

b 実施方法

■全学FD・SDフォーラムの開催

本学全専任教職員を対象として実施し、参加率は9割に近い年間で最大のFD行事である。令和4年度の第1部は、「学生の声を、どのように教育に活かすか 一魅力ある授業や学位プログラムづくりのためにー」と題して、第2部は、「大学改革、今、本学が重点的に取り組むべき課題」と題して開催した。

■学生FD&授業改善セミナーの開催

本学における教育活動の質的向上を図るにあたって、学生の意見も反映させることを目的として、学生FD委員を公募している。学生FD委員は、教職員と学生との協働FD懇談会に参加し、学生個々の実感を教員に投げかけて議論することで、教育改善に貢献している。

■授業相互参観週間の実施

例年、各教員が相互に授業を見学することにより、授業の内容及び方法の改善に繋がる気付きや発見が可能となるよう、原則として全ての開講授業を公開し、自由に見学できる期間を設けている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

教員には、年間を通じて最低1回以上のFD参加を義務付けていることから、参加率は概ね90%を達成している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各種刊行物を通して、教育改善に関する情報共有及び理解の浸透を図るとともに、全学的な取り組みと各学部・学科等における独自の取り組みの相互活性化に繋げている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期終了時に、原則として全ての科目を対象に「学生による授業評価アンケート」を行い、学生の学修実態等を把握するとともに、授業に対する学生の意見を取り入れることで授業改善に活用している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、匿名化したうえで原則として開示し、各学部・学科のWebページや各授業科目のシラバス、教職員と学生との協働FD懇談会をはじめとしたイベント等を通して、学生へのフィードバックを行っている。

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

デザイン・データ科学部では、「定量・定性の両方のデータ科学に関する知識と技術に裏付けられた批判的思考力と論理的思考力、そしてグローバルリテラシーの涵養により、世界のあらゆる「もの」と「こと」を読み解く能力を修得させる。その上で、実社会における多種多様な課題を解決するために、新たな「もの」と「こと」を具体的に、構想・設計・構築、すなわち、デザインできる実践的な専門力を持つ人材の養成」を目的としている。

設置計画に基づき、開設初年度の4月までの期間において設置の趣旨・目的が達成できるよう以下の取り組みを進めた。

■学生募集

学生確保に向けた取り組みとして、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、完全予約制のキャンパス来場型オープンキャンパスや各地で開催されている進学相談会への参加といった対面での実施とともに、特設ウェブサイトに学科の紹介動画を掲載する等を行い、本学部が養成する人材像とアドミッションポリシーの浸透を図った。その結果、志願者数は1,028名、志願倍率は10.2倍となった。

■新入生オリエンテーション

新入生向けオリエンテーションとして学科ガイダンスやクラス担任ガイダンス、ウォーミングアップセミナー、フレッシュャーズキャンプ等のプログラムを行った。学科ガイダンス等においては、学部のディプロマポリシーやカリキュラムポリシーの説明、留学プログラムに関する説明等を通じて学部に関する理解を深めた。ウォーミングアップセミナーでは、修学意欲を高める事を目的としたグループワークを学部・学科横断により実施した。フレッシュャーズキャンプは、PCのセッティング確認を含めた授業で使用するソフトウェアの準備や学部の理解を深めるとともに学生同士の交流を深めるプログラムを行った。

引き続き、設置の趣旨・目的を達成できるよう尽力する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和5年8月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(令和5年8月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受審中

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和5年度)

a 公表予定の有無 [有]

《aで「有」の場合》

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。